

生涯学習や社会教育の分野でも

注目をあつめる釜ヶ崎芸術大学の活動について、
講演、事例紹介などいたします。

とあ もうこ
お問い合わせ・お申し込み

Contact Information [オンラインも]



NPO 法人
こえとことばとこころの部屋 (ココルーム)

Non-Profit Organization
"The Room for Voices, Words, and Hearts"
(Cocoroom)

〒557-0002 大阪市西成区太子 2-3-3
2-3-3 Taishi, Nishinari-ku, Osaka, Japan 557-0002
06-6636-1612 / info@cocoroom.org
www.cocoroom.org

Zoom参加申し込みの方はHPのイベントページから!

アクセス Access

- 大阪メトロ 御堂筋線「動物園前駅」2番出口、
堺筋線「動物園前駅」8・9番出口、
動物園前一番街商店街を南へ徒歩約5分
- JR新今宮駅から徒歩約8分
- From Doubutsuen-mae Station of Midosuji Line
-Exit 2. 5 minutes' walk toward the south
in Doubutsuen-mae Ichiban Gai.
- From Doubutsuen-mae Station of Sakaisuji Line
-Exit 8 or 9. To the eastward from the
Exit to Doubutsuen-mae Ichiban Gai,
and 5 minutes' walk toward the south
- From Shin-Imamiya Station of JR Line.
8 minutes' walk

ゲストハウスとカフェと庭 釜ヶ崎芸術大学 Café Garden Guesthouse KAMAGEI

何も変わらないけれど、施設名を改名!

■ カフェ Cafe 10:00-20:00

もやいコーヒー 440円/プーマラン弁当 500円
(容器を洗って返してね。10回食べたなら1回無料の3色弁当)
まかないご飯 1,100円 (昼12:00~ / 夜18:00~)
Coffee (hot/iced) 440 yen, etc. Lunch Box 500 yen
Daily meal 1,100 yen (Lunch 12:00~ / Dinner 18:00~)

■ 宿泊 Accommodation

(チェックイン Check-in hour 15:00-20:00)
シングル 3,500円~/ドミトリ 2,500円~/
森村部屋(スペシャルツインルーム) 4,500円~/
Dormitory room 2,500 yen~/ Single room 3,500 yen~/
Special twin room 4,500 yen~/

■ 宿泊のご予約 Reservation room@cocoroom.org

*週末、繁忙期により価格が変動します。
Extra charge is applied for weekends,
public holiday eves, and busy seasons.
*まかないごはんをご希望の方は事前に
予約ください。とりおきも相談ください。

■ シングルルーム長期滞在プラン(1ヶ月) Single Room Long Term Stay Plan (1month)

ノマドワーク、インターン、調査研究・フィールドワーク、お試し一人暮らしなど50,000円~(応相談)、学生割引 36,000円
*エアコンの使用状況によっては別途料金をいただきます。

Ideal for remote work, internship, research/fieldwork, etc. 50,000 yen~ (negotiable) Student discount 36,000 yen (4,000 yen extra in summer and winter)

釜ヶ崎芸術大学 1階
10時~20時

本間に 本間にブックカフェ
Honmani Living Book Café

本をあいだに、であいがひろがる Have a good time, and get a book!
日替わり店長(誰でもなれます)と、おしゃべりしてください。本をさしあげます。

ココルーム
チャンネル

YouTubeで釜芸を
紹介します!

メルマガ
登録

最新情報
を配信!

参加費について Participation Fee

釜芸はみなさんの寄付で運営しています。
生活保護や困窮されている方: 気軽に無料でご参加ください。ふとこころに余裕がある方: 活動への賛同として1講座1000円以上、応援参加費2000円、加勢参加費3000円の寄付をお願いします。

KAMAGEI (Kamagasaki University of the Arts) is operated by your donations. 1000 yen ~ 3000 yen per lecture (standard)

単発寄付



活動の寄付を募っています

We would very much appreciate your donations!

■三井住友銀行/天王寺駅前支店/普通 1585265
■りそな銀行/萩之茶屋支店/普通 0200091
名義: 特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋

■郵便振替 (ゆうちょ銀行からのお振り込み)
記号: 01090-5-48059 名義: ココルーム

■大阪市「なにわの芸術応援募金」 ■ Syncable

*税控除のある寄付
ココルームを指定して
募金ください。



賛助会員を
募集しています。
申し込みはこちら▶

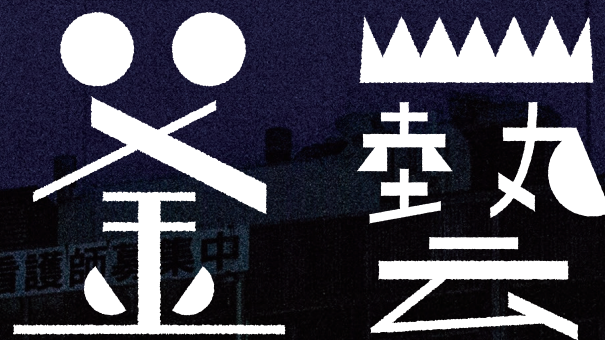
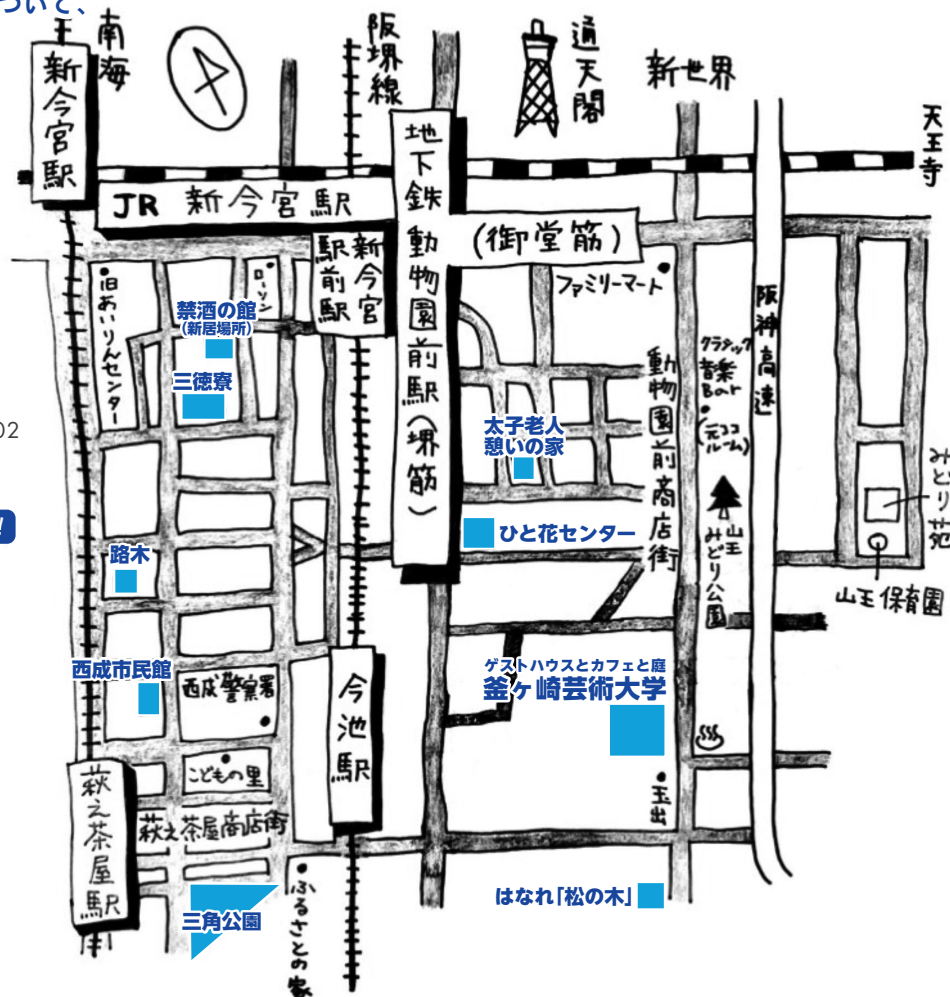


釜芸学生証で、 学割に!

- 第七芸術劇場
- シアターセブン
- シネ・ヌーヴォ
- 神戸映画資料館
- 京都みなみ会館
- 京都シネマ

上記の施設で釜芸学生証を提示すると、学割料金で入場いただけます。
※施設様へ: 釜芸学割を認めていただける施設様はココルームまでご連絡ください。

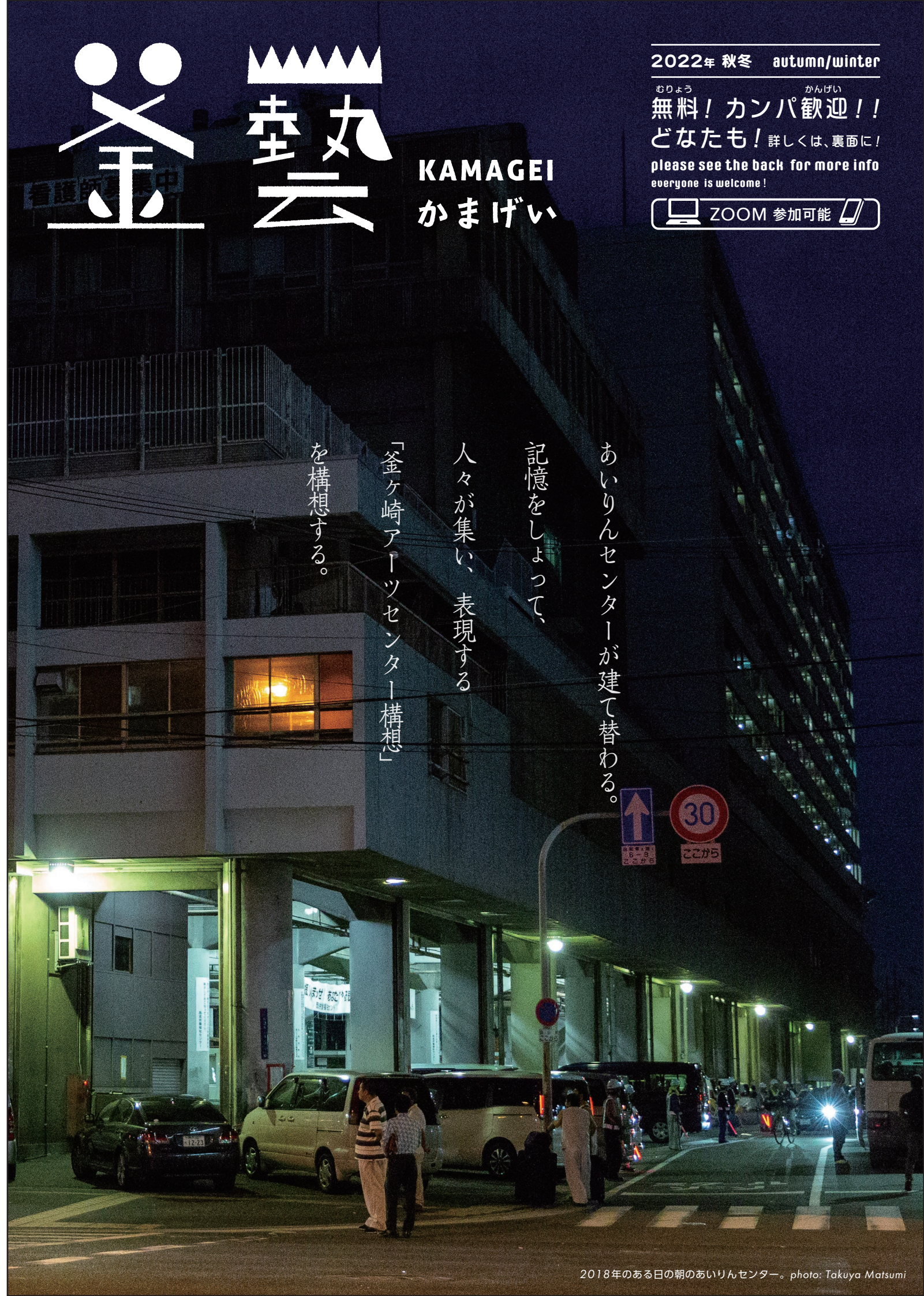
助成/公益財団法人 熊西地域振興財団



KAMAGEI
かまげい

2022年 秋冬 autumn/winter

むりよう かんげい
無料! カンパ歓迎!!
どなたも! 詳しくは、裏面に!
please see the back for more info
everyone is welcome!



あいらんセンターが建て替わる。
記憶をしょって、
人々が集い、表現する
「釜ヶ崎アーツセンター構想」
を構想する。

2018年のある日の朝のあいらんセンター。photo: Takuya Matsumi

一人の気持ち、 一人のことばが、 永井玲衣



2022年8月14日 釜ヶ崎芸術大学の庭のもと図書室にて

一チラシもらったのね。それまたすごいことですよ。綺麗なひとがね、和服姿だったんだけど、綺麗だったんです。あらあ、えらい綺麗なひとがなあ、来たんだって。チラシをもらって、これ行ってみようっていうのがきっかけですよ。

坂下さんはのっそり、のっそりやってきた。杖をつけて、緑色のマスクをして、すりとわたしの隣に座って、昨日あったできごとを話してみたいに、釜芸のことについて語りだした。

名前の知らない葉っぱが生い茂るジャングルのような庭の奥にある小部屋で、わたしたちはであった。「ここを対談部屋にしての」とココルーム代表の假奈代さんは、摘んできた葉っぱでつくったお茶を淹れながら言う。壁にはびっしりと、これまで假奈代さんらがつくってきたフリーペーパーやこれまでの釜芸のカリキュラム、その他よくわからない何かがびっしりと貼られていて、釜芸やそれに連なる活動がたどってきた歴史が、わあわあと叫んでいるようだった。

一当時2011年くらいから、その商店街の音がね、ちょっと変わったような気がしてたのね、わたし。音が変わるっていうのは、威勢のよい足音とか、怒鳴り声とか、そういう声じゃなくなってって、何かこう、ゆっくり、ゆっくりの音になっていく。…もしかしたらこれまでみたいに、この喫茶店に、カマン!メディアセンターに、このまちのひとたちが来てくれなくなるんじゃないかって気がしてきて。

假奈代さんの耳に、音がとどく。歩行器の音、よたよたの音。そうして、おじさんたちの住まいの場へ、假奈代さんたちは出向いていく。機会がめぐりあい、あいりんセンターそばの市営住宅の空きスペースを活用した場で、「まちでつながる」を冠した9ヶ月の講座を三徳寮の共催でひらくことになる。そこに通りがかったのが、釜芸がつくられるきっかけの一人となっ

た、坂下さんだった。「綺麗なひと」からチラシを受け取って、坂下さんはそれから9ヶ月の講座すべてに出席した。

一でね、坂下さんおぼえてる?ちょうど断酒をはじめたばかりだったんだよね。

一うん、アルコール依存症ですから、やめなあかんという病院に行きましたから。まあ、それでも飲みたいですわね。何回か失敗してね。

一ところがその9ヶ月、断酒頑張ってたんですよ。お酒をやめるっていうのは、薬でやめるんじゃないってね、人生の楽しみがないとね、やめられないんだ、みたいなことを坂下さんが言うわけ。

一偶然のあいと、偶然のことばが坂下さんからこぼれる。それがしみこんでいく。釜芸はまだできていない。当時の「まちでつながる」は9ヶ月間といっても、月一回しかひらかれていなかった。また、ことばが坂下さんからこぼれる。

一来月、生きとるか死んだのか、わからんや。

一こうして、「釜ヶ崎芸術大学」ははじまった。坂下さんだけじゃなく、たくさんのであいのことばによって、釜芸はかたちづくられていった。講座は頻度も増え、釜ヶ崎のおじさんたちの生活のリズムになるように組まれた。

一詩、天文学、哲学、ガムラン、狂言、合唱、とにかくさまざまな講座があった。坂下さんは、互いの話をききあいながらつくる詩の時間が好きだった。

一やっぱりその、若いひととね、年寄が一緒に喋るということですよ。それはすごいことなんですよ。…かわいい20歳の大学生と、

70のよれよれの老人がね、あの世に片足つっこんでるひとが、詩をつくるんだから。女の子ね、笑って、笑ってね、帰るわけよ。あのおっさんどうしてるかね、いまごろって。それがいいんですよ。年齢が離れているっていうのは、おもしろい。

一いろいろなところに行った。八戸にも行った。假奈代さんと坂下さんと、イタコに会いに行ったという。お金はない。助成金を申請した。社会のため、地域のためと書くのではなく、たった一人という人に焦点をあてたときに、捉えられるものがあるのではないかと、假奈代さんは書いた。そしてそれがなぜか通った。通したのはアサヒビールだった。

一僕はアサヒビール大好きやったからね、アサヒスーパードライ最近でも飲みたいと思うからね、1回くらいは。そうか、アサヒビール協賛ですか。じゃあもうちょっと飲まなあかね。

一釜芸の狂言に出た坂下さんは、「現実世界では飲めないけれど、舞台の上ではなんぼでも飲める」と踊りながら扇で浴びるようにお酒を飲んだらしい。「舞台を降りたらもう、飲めますまい」と締めくくったと教えてくれた。

一そんな彼に助成金を出してくれたのはアサヒビールだった。これもまた必然のようで、おもしろい偶然なのである。

一坂下さんは釜芸の一期生だと假奈代さんと言う。段ボールを座布団のように敷いて、その段ボールにメモを取っていたおじさん、2,3年かけてようやく最後まで詩の講座に参加してくれたおじさん、詩の発表のときに、窓の方をむいて読み上げたおじさん、みんなを困らせ、なんで釜芸に来るのかと問われて「コミュニケーションを学びにきた」と答えるおじさん。ふしぎで、ままならなくて、おもしろいひとたちがたくさんいた。だが、だんだん、だんだん、そのひとたちはいなくなっていく。会えなくなっていく。一人、また一人と、ひっそり姿を消していく。

一午後、假奈代さんがココルームが制作した映画を見せてくれた。坂下さんもそこにいた。なぜだかゴキブリの話をしてた。今より少し若かった。おじさんたちが、たくさんうつつている。みなそれぞれの目をしている。假奈代さんは動画を見ながら、ことばをこぼす。

一みんな、死んだなあ。死んだわあ。

一10年目を迎えた釜芸。初期につどっていたひとたちで、残ったのは坂下さんだけだ。最近はまだ、坂下さんもあまり釜芸には来ていないらしい。

一隠居の身やなと思って。

一いや、でも卒業しなくていいのよ。

一うん、卒業できないんやから。…ここは試験もないんだから。入学試験もないしね。で、授業料もいらぬ。はっきり言うたら。ある人は寄付したらいいんだらうけど。こんなところ、どこ探してもないもんね。

一假奈代さんは、卒業しなくていいと言った。それを聞いた坂下さんは笑った。卒業できない大学、釜芸。入学試験もない。卒業もない。単位もない。はちゃめちゃん校歌はある。

一釜芸は、つまづきよめきながらも、解体となるあいりん労働福祉センターの跡地にアーツセンターをつくる構想に向けてすすんでいる。

一そうねもし、このまちのひとたちがまだ、体が動くのであれば、多分ものづくりはとても得意だと思っから。そしたらそういうものづくりをね、若い人たちだったり、子どもと一緒にできるだろうし。…その隣の労働施設なんだけいったときに、日本語を覚えるとか、それだけじゃなくて、自分たちの文化とかを私たちと一緒にね、体験したりわかちあったりとか、一緒にコミュニケーション取るような場をつくることで、何とかここで働くことが苦にならないように、この場所で生活することが、息苦しくないようなこととかもつくれたらいいなと思うし…。

一假奈代さんが、ことばを探しながら、釜ヶ崎アーツセンターの構想を描く。いいと思う、いいと思う、と坂下さんは繰り返す。

一あと10年生きなあかんですよ。88歳まで頑張らなあかね。あと10年頑張らなあかん。そしたらねえ、だいたい目鼻つくでしょ。みんなおばあちゃんになってるわけやけども。みんな歳とるわ。一人だけじゃないもんね、歳とる

のは。みんな歳とる。それだけ不思議なことないわ。

一つくったほうがいい。坂下さんは断言した。生徒100人集めれば大学じゃない、一人集めても大学なんだから。生徒は一人でもいいから、それやらなあかんですよ。そのことばが、釜芸をかたちづくったように、アーツセンター構想をかたちづくる。

一釜芸にもうひとつ背骨を入れるのはね、そのあいりんアーツセンターやと思う。それで釜芸と行き来できると。だから大学はキャンパスがいっぱいあるでしょ。向こうをキャンパスにすればいいんです。

一もともと釜芸って、まちを大学に見立てるってことだからね。

一だから僕はパリにしようと言うたでしょ。…セーヌ川どこか。木津川のあたり。シャンゼリゼどこか。なんばのあたり。それでいいわけです。中心がどこかっていったら、ここなんです。中心なんです、ここは、大阪の。ええとこにあんた、キャンパス持つてる。

一釜芸はこの10年で、1万人以上の学生証を発行してきた。たった一回でも、釜芸の講座に出れば、学生証をもらえる。小さいけれども、きちんとした学生証で、わたしの財布にも仕舞われている。卒業がない釜芸だから、わたしにも坂下さんにも、同級生が1万人いることになる。



永井玲衣（哲学者）

ひとびとと哲学する場をひらいている。著書に『水中の哲学者たち』（晶文社）。詩と植物園と念入りな散歩が好き。

上田假奈代（詩人）

2003年新世界で喫茶店のふりをしたココルームを立ち上げ、2008年西成区の動物園前商店街に拠点を移す。2012年釜ヶ崎芸術大学、2016年ゲストハウス、2019年井戸掘りなどに取り組む。

坂下範征（釜ヶ崎在住）

1943(昭和18)年11月8日鹿児島県生まれ。現在78歳。30代の頃に釜ヶ崎を訪れ、40代に2回、50代のときに沼津から26泊無銭の旅をして釜ヶ崎に到着し、27年間釜ヶ崎に。

だが坂下さんは、一人だけでも大学だと繰り返して強調する。そのことばが、ふしぎな偶然の連なりの中で、八戸へとイタコへ会いに行ったふたりの旅へとつながる。そう、あのときも、たった一人のために假奈代さんは書類を書いたのだった。その一人のことばがまた、釜芸をかたちづくって、重なって、また動いていく。だから假奈代さんは、思わずことばを落とした。

一でも一人の気持ち、一人のことばが、こうやって1万人のであいを生んだっていうのが…たまらんなあ。

一ふたりと話した次の日、釜ヶ崎の慰霊祭があった。その年に亡くなったひとの名前が読み上げられる。一人、また一人と去っていく。釜ヶ崎というまちだけでなく、わたしたちの周りにも、うっすらとまわりつく死の気配がある。

一だが同じように、であいもある。わかりにくく、あたふたとしためちゃくちゃな場に、たくさんのことばが重ねられていく。ことばは高く積み上がっていくというよりは、よりその場にしみとおっていく。水がすみずみまで土にしみとおるように、ことばが奥へ、奥へと入り込んでいく。

一ほな、と坂下さんは帰っていった。東京からふらりときたわたしが、たまたま坂下さんと假奈代さんの話をきいた。本当にたまたま、きいてしまった。三人で話した小部屋が、その晩のわたしの寝床になった。ことばの中でわたしは眠った。

一わたしたちはみな歳をとる。釜芸もまた歳をとる。ことばが重なり、重くなり、また奥へ、奥へとしみこんでいく。



かまがさきげいじゅつだいがく・だいがくいん

釜ヶ崎芸術大学・大学院 講座スケジュール 2022.10~23.3

会場 | 釜ヶ崎芸術大学(コクルーム)、Study: 大阪関西国際芸術祭2023の期間は芸術祭会場の船場エクセルビル6F

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

10月

Geography 新今宮の歴史地理探訪

地理 ちり
4日(火) 14:00~16:30
講師 | 水内俊雄(地理学者)
*歩きやすい格好でてください。

Chorus Club こころいっぱいにうたう

合唱部 がっしょうぶ
5日(水) 18:30~20:30 **ON-LINE**
指揮 | 山本則幸(合唱指導)

Think about the Bon-Dance and BOLERO

まわること、繰り返すこと、生きること

盆踊りとボレロについて考える
8日(土) 14:00~16:00 **ON-LINE**
語り手 | 中川真(音楽学者)、上田假奈代(詩人)、常盤成紀(アミーキティア管弦楽団主宰)、江藤まちこ(かまぶ〜)

Happiness of Rice Porridge

ひとりてくれるおかゆも楽しく

おかゆのしあわせ
12日(水) 14:00~16:00
講師 | 宮浦宜子(食卓ディレクター)

Experiment for BOLERO

新解釈! やってみなくちゃわからない

来月開催!
音楽とことばの庭の「実験」
16日(日) 14:00~16:00
進行 | 常盤成紀(アミーキティア管弦楽団主宰)

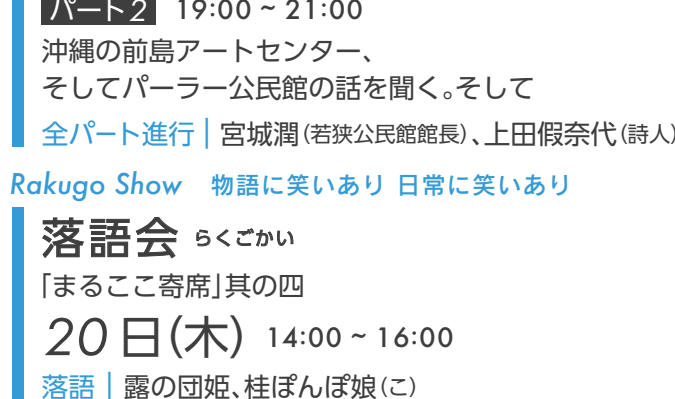
Talkin' about "Designing Plan of Kamagasaki Arts Center Plan"

構想するには、対話から

構想トーク こころトーク
釜ヶ崎アーツセンター構想を構想する
17日(月) **ON-LINE**
パート1 14:00~15:30
釜ヶ崎のおっちゃんたちとアーツセンター構想を話そう
話す人 | 釜ヶ崎のおっちゃんたちを中心に
パート2 19:00~21:00
沖縄の前島アートセンター、そしてパーラー公民館の話聞く。そして
全パート進行 | 宮城潤(若狭公民館館長)、上田假奈代(詩人)

Rakugo Show 物語に笑いあり 日常に笑いあり

落語会 らくごかい
「まるここ寄席」其の四
20日(木) 14:00~16:00
落語 | 露の団姫、桂ぼんぼ娘(こ)



釜芸のスケジュールを全国に発送しています。配布ご協力いただける方はぜひ!

			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

11月

Chorus Club たまには指揮者を見てね

合唱部 がっしょうぶ
2日(水) 18:30~20:30 **ON-LINE**
指揮 | 山本則幸(合唱指導)

Let's Express What Work is All About

はたらくのいろいろ。はたらくをいろいろ

呱呱の声を人 はたらくをあらわす
13日(日) 14:00~16:00 **ON-LINE**
進行 | 江藤まちこ、かまぶ〜

KamaHan Gifts from the Honey Bees ミツバチからの恵み

I. 蜂を知ろう はちをしろう
Discover the bee
18日(金) 14:00~17:00
講師 | 太田貴大(自然共生の研究、大阪大学)

Music and Words at the Garden

- Newly Interpreted BOLERO! The Day Starts Again

9人オーケストラが釜芸と作る新しい舞台

音楽とことばの庭
新解釈ボレロ! 「きょうもいちにち」
19日(土) 14:00~16:00
構成・演出 | 常盤成紀(アミーキティア管弦楽団主宰)
演奏 | アミーキティア管弦楽団

General Assembly of Student Council with Africa

ここで改めて語ってみる かまぶ〜

学生自治総会
アフリカでも釜芸
25日(金) 14:00~16:00 **ON-LINE**

釜芸サポートチーム・かまぶ〜の新旧メンバーの対話

*アフリカとオンラインでつなぐ予定ですが、電波の状況次第です。
つながらない時はアフリカのことも妄想しながら、
テンギョーの用意した質問に答え対話を深めます。
進行 | テンギョー (from アフリカ)

Night Alms こんばんは おむすびを手渡す

カマン! 夜回り よまわり
30日(水)
16:00 おむすびつくり 18:00 夕ご飯
20:00 夜回り 21:30 終了予定



釜芸のスケジュールを全国に発送しています。配布ご協力いただける方はぜひ!

					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

12月

How to Make Collaborative Haiku Poetry

さあ、だれでも始める合作俳句!

合作俳句 ファシリテーション部
4日(日) 14:00~16:00 **ON-LINE**
進行 | 西川勝(哲学)、高木智志(人生俳句)、上田假奈代(詩人)

Chorus Club 今日をうたう。明日をうたう

合唱部 がっしょうぶ
7日(水) 18:30~20:30 **ON-LINE**
指揮 | 山本則幸(合唱指導)

KamaHan Gifts from the Honey Bees ミツバチからの恵み

II. 蜂になってみる はちになってみる
How to be a bee?
9日(金) 14:00~17:00
進行 | 大阪大学人間科学部 共生学科目 学生たち

Soundscape in Kamagasaki 無縁・有縁の音をさがす

釜ヶ崎サウンドスケープ
15日(木) 13:30~16:30
指揮 | 中川真(音楽学者) *歩きやすい格好でてください。

KamaHan Gifts from the Honey Bees ミツバチからの恵み

III. 蜂と共に生きる はちとともに生きる
Living with bees
16日(金) 14:00~17:00
進行 | 大阪大学人間科学部 共生学科目 学生たち

Getting Ready for the New Era of Cocoroom

事業承継の準備体操

「コクルームってなんなん?」
18日(日) 14:00~16:30 **ON-LINE**
聞き手 | 嶋田康平(電話相談員/コクルーム理事)、
社納葉子(ライター/コクルーム理事)、永井玲衣(哲学者/かまぶ〜)
話す | 上田假奈代(詩人/コクルーム代表)

Why Don't We Clean Up Our University Together?

ちょっとだけの人も ガッツリの人も、好きなだけ
年末大掃除 ねんまつおそうじ
27日(火) 13:00~17:00

Chorus Club on the Year-End Stage

今年の締めくくりに思いきり声に

合唱部 越冬ステージ
30日(金)
16:00 練習 会場 | 釜芸(コクルーム)
18:30 頃 ステージ 会場 | 三角公園

Let's Do Poetry at the End of the Year 2022

大晦日、一年の煤をこぼしにして

大晦日 煤払い詩・こたねの会
31日(土) 14:00~16:00 **ON-LINE**
進行 | 上田假奈代(詩人)

1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

2023 1月

Kakizome (New Year's Calligraphy)

新しい年を言祝いで筆をとる

書き初め かきぞめ
1日(日) 14:00~15:00
2日(月)、3日(火) 14:00~15:30
会場 | 1日 釜ヶ崎芸術大学(コクルーム)
2日、3日 三角公園

Carta (Card Game) Gathering

お正月の初勝負! 「百人一首」も「釜ヶ崎妖怪かるた」も

かるた大会 たいかい
1日(日)、2日(月)、3日(火)
16:00~17:30

Study: Osaka Kansai International Art Festival 2023

Study: 大阪関西国際芸術祭 2023

1月28日(土)~2月13日(月)

釜ヶ崎芸術大学 「おもいのほか釜ヶ崎アーツセンター」(仮)

会場 | 船場エクセルビル6F (Study: 大阪関西国際芸術祭 2023) 大阪府大阪市中央区久太郎町3丁目2-11

We Gonna Open and Close Kamagasaki's Art Exhibition Together!

いちにちだけでも! 要するに、みんな手伝って!

搬入 1月8日(日)~27日(金)
搬出 2月14日(火)~17日(金) 頃

展示の準備や展覧会会場で搬入・設営・搬出など行います。

動きやすい服装で来てください。

詳細はFacebookなど釜芸のSNSにて。なるべく事前に連絡ください。

宿泊はどうぞ、西成「ゲストハウスとカフェと庭 釜ヶ崎芸術大学」へ。

Collaborative Haiku Poetry ふしぎのであいのおもしろさ

合作俳句 がっさくはいく
28日(土) 14:00~16:00 **ON-LINE**
講師 | 西川勝(自由俳句)、高木智志(人生俳句)、上田假奈代(詩人)

Art and kamagasaki 釜芸の芸術性をひもとく

29日(日) 14:00~16:30 **後日配信あり**
1: アジールと限界芸術 Asylum and Marginal Art
トーク | 福住 廉(美術評論家)、上田假奈代(詩人) モデレーター | 秋田光軌(大運寺 副住職)

2: アナキズムと限界芸術 Anarchism and Marginal Art
トーク | 上田假奈代(詩人)、ゲストスピーカー1名 モデレーター | 藪本 雄登(アウラ現代芸術振興財団 代表)

共催 | 秋田公立美術大学 複合芸術会議プログラム

Word and Body 呼吸しシカトすることばとからだ

ことばとからだ 30日(月) 19:00~21:00
講師 | 砂連尾理(振り付け家・ダンサー)、上田假奈代(詩人)



			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28					

2月

Letter Writing あふれることば 選ぶことば

手紙を書く会 てがみをかかくかい
3日(金) 14:00~16:00 **ON-LINE**
進行 | しょうゆ(かまぶ〜)

Interactive Conversation on Kamagasaki Arts Center

構想も鑑賞も表現だ!

釜ヶ崎アーツセンター構想
についてみんなで語る
4日(土) 14:00~16:00 **ON-LINE**
講師 | 田中均(美学)

Poetry 表現の源は対話から

詩
5日(日) 14:00~16:00 **ON-LINE**
進行 | 上田假奈代(詩人)

Thailand to Kamagsei(Semba) 人間バンバン、タイ Kama

タイ釜芸(船場) かまげい(せんば)
7日(火) 14:00~16:00 **ON-LINE**
進行 | パツタ亭こおろぎ(かまぶ〜、from タイ)

Newly Interpreted BOLERO!

- Reflecting of The Day Starts Again

ボレロ越しに見えたもの

新解釈ボレロ!
「きょうもいちにち」をふりかえる
8日(水) 19:00~20:30 **ON-LINE**
話し手 | 常盤成紀(アミーキティア管弦楽団主宰)ほか

Book Reading 声であじわう物語

音読 おんどく
12日(日) 14:00~16:00 **ON-LINE**
進行 | しょうゆ(かまぶ〜)

Night Alms 今日もまた

カマン! 夜回り よまわり
22日(水)
16:00 おむすびつくり 18:00 夕ご飯
20:00 夜回り 21:30 終了予定

				2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

3月

Death ~When You Want to Die~ 「死にたい」と生きる

死
3日(金) 14:00~16:00 **ON-LINE**
講師 | 赤井智顕(お坊さん)

Night Alms おたがいのこの時間

カマン! 夜回り よまわり
22日(水)
16:00 おむすびつくり 18:00 夕ご飯
20:00 夜回り 21:30 終了予定

Poetry and Completion Ceremony

終了式もことばのたねを明日のために

詩・修了式 し・しゅうりょうしき
28日(火) 14:00~16:00 **ON-LINE**
進行 | 上田假奈代(詩人)、かまぶ〜

KamaHan

釜ヶ崎芸術大学 × 大阪大学

ミツバチからの恵み
みなさんハチミツ好きですか? 私たちはミツバチから色々な恵みを受けています。甘いハチミツや元気回復のローヤルゼリーはもちろん、家庭菜園の作物もミツバチがやってきて受粉してくれています。
この講座では、そんな有難いミツバチのことを知って、私たちとハチたちが共生していく道筋を考えます。
まず、ミツバチについて色々知しましょう。次に、ボードゲームで遊びながら、ミツバチの生きている世界を疑似的に体験しましょう。そして、最後に、あなたの家で、あなたの町で、ミツバチと共に生きていく方法を考えましょう。これらの講座を受ければ、きっとあなたもミツバチを飼いたくなること間違いありません!

Gifts from the Honey Bees
Do you like honey? and bees? Honey bees benefit us in various ways. They give us sweet honey, the powerful royal jelly, and they also pollinate our garden vegetables. This lecture series provides an introduction into the lives and ecosystems of honey bees, as well as an opportunity to think about the vision of kyōsei, or coexistence, of honey bees and humans. In the first class, we will get familiar with this tiny little being. Next, we will try to create the world of the honey bee and experience it through playing a board game. Finally, we will discuss the possibilities of living together with honey bees at your home and in your neighborhood. We are confident that after this lecture series you will find honey bees awesome and will be better equipped to live together with them.

Study:
大阪関西国際芸術祭2023
詳細はWEBサイトをチェック!